

年中の収入の申告について

この申告書は、保険料を決定するため、あなたの世帯の 年中(1月1日～12月31日)の収入を申告していただくものです。

お手数ですが、右の申告書に名前のある方について、下記の記入方法をお読みのうえ、申告書に収入等を記入し、同封の返信用封筒にて申告期限までに必ず返送してください。

申告期限

※確定申告や市県民税申告、勤め先からの申告がお済みの方にも、行き違いでこの申告書が届くことがあります。その場合はお手数ですが、右の申告書中段の「所得の申告」欄へご記入の上、ご返送をお願いします。

保険料の軽減について

国民健康保険料は、前年(1月1日～12月31日)の収入等をもとに計算されます。収入が少なかった世帯や、まったくなかった世帯は、世帯の保険料のうちの均等割と平等割の金額が、国の定める基準により、軽減されます。

この保険料の軽減を受けるためには、収入の有無に関わらず、世帯主及びその世帯の国民健康保険加入者全員の所得申告が必要です。(国民健康保険に加入していない世帯主の方についても、所得申告が必要です。)

※後期高齢者医療制度の創設に伴う国民健康保険料の配慮について

国民健康保険から後期高齢者医療制度への移行により、世帯の国民健康保険加入者が減少しても、従前と同様の軽減が受けられるよう、国民健康保険から後期高齢者医療制度へ移行された方も含めて軽減の判定を行います。

そのため、後期高齢者医療制度へ移行された方についても申告が必要な場合があります。

申告期限について

申告は随時受け付けております。期限を過ぎても必ず申告してください。この場合、保険料の変更通知が遅れたり、軽減された結果で保険料の納め過ぎが生じ、あとから返金したりすることがあります。ご了承ください。

これは市県民税申告ではありません

この申告書は保険料を決定するためのみ使用します。したがって、高額療養費等の申請手続きの際には、市税事務所等への申告をお願いする場合があります。また、市民税非課税証明や所得証明等が必要な場合にも、市税事務所への申告が必要です。

この申告書に関するお問い合わせ先

※裏面に記載

記入方法

右の申告書に名前のある方の収入所得状況を記入してください。

年中(1月1日～12月31日)に収入がありましたか。

いいえ

課税の対象になる収入がなかった方については、「生活費の出所」のみ記入してください。

- ・該当する生活費の出所を一つ選び、レ印を記入してください。
- ・遺族年金、障害年金、老齢福祉年金、労災年金等の非課税年金を受給していた場合、「非課税年金」にレ印をしてください。

はい

以下のような収入があった方については該当する欄へ記入してください。
※確定申告や市県民税申告をされた(される)方、給与所得者で勤め先からの申告がある方は、「所得の申告」の欄に記入してください。

給与収入

給与収入(アルバイト・パートを含む)があった方は、賞与や手当金等を含めた年間(1月1日～12月31日)の支払い金額を記入してください。

老齢年金収入

国民年金、厚生年金、共済年金、普通恩給、企業年金、年金基金等の老齢年金収入があった方は、年間(1月1日～12月31日)の受給額を記入してください。複数あった方は合計額を記入してください。

事業・不動産などによる所得、個人年金などの所得

自営業や事業(漁業を含む)、農業、不動産などによる所得、または、保険の満期、個人年金などの所得があった方は、**所得の種類番号に○印をして**、次の金額をすべて記入してください。

※複数の所得があった方はそれぞれ分けてご記入ください。(記入例は右の申告書裏面の例3)

〈収入金額①〉

年間(1月1日～12月31日)の総収入金額

〈必要経費②〉

①の収入を得るために使った経費(生活費等は含まれません)

〈所得金額①－②〉

収入金額①から必要経費②を差し引いた金額

その他の所得

上記以外の所得がある方は、所得の種類と金額を記入してください。

岡山市国民健康保険 収入所得状況等申告書

(この申告書は市県民税の申告書ではありません。)

保険証番号	
通知書番号	

年度() 年中の収入)

発行日

岡山市長行

申告日 年 月 日

世帯主 氏名											
住所											
電話 番号											

左詰めでハイフンを除いてご記入ください。

私の世帯の下記の者の収入について申告します。

※申告書の記入にあたっては、左面の記入方法を参照してください。(記入例は裏面)

※転入者で賦課期日後(以降)に岡山市に転入された方については、転入前の市町村に所得の照会をします。前住所で確定申告や市県民税申告されている方、もしくは給与所得者で勤め先からの申告がある場合は、「所得の申告」欄のみの記入でも構いません。

年中(1月1日~12月31日)の収入について記入してください。

氏名			
生年月日			
	収入がなかった場合	収入がなかった場合	収入がなかった場合
生活費の出所 課税の対象になる収入がなかった方はこの欄のみに記入してください。	<input type="checkbox"/> 非課税年金(遺族年金・障害年金・労災年金等) <input type="checkbox"/> 雇用保険、傷病手当 <input type="checkbox"/> 預貯金 <input type="checkbox"/> 家族の収入 <input type="checkbox"/> 入国・国外収入のみ <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 非課税年金(遺族年金・障害年金・労災年金等) <input type="checkbox"/> 雇用保険、傷病手当 <input type="checkbox"/> 預貯金 <input type="checkbox"/> 家族の収入 <input type="checkbox"/> 入国・国外収入のみ <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 非課税年金(遺族年金・障害年金・労災年金等) <input type="checkbox"/> 雇用保険、傷病手当 <input type="checkbox"/> 預貯金 <input type="checkbox"/> 家族の収入 <input type="checkbox"/> 入国・国外収入のみ <input type="checkbox"/> その他()
	収入があった場合	収入があった場合	収入があった場合
所得の申告	<input type="checkbox"/> 確定申告・市県民税申告(月日ごろ) <input type="checkbox"/> 勤め先より申告	<input type="checkbox"/> 確定申告・市県民税申告(月日ごろ) <input type="checkbox"/> 勤め先より申告	<input type="checkbox"/> 確定申告・市県民税申告(月日ごろ) <input type="checkbox"/> 勤め先より申告
給与収入 (年間金額)	07 円	07 円	07 円
老齢年金収入 (老齢年金等の年間受給額計)	17 円	17 円	17 円
事業・不動産などによる所得、個人年金などの所得 四段すべて記入してください。	<所得の種類に○印> 1. 自営・事業による所得 2. 農業 3. 不動産 4. 一時所得(保険の満期等) 5. 雑(個人年金等)	<所得の種類に○印> 1. 自営・事業による所得 2. 農業 3. 不動産 4. 一時所得(保険の満期等) 5. 雑(個人年金等)	<所得の種類に○印> 1. 自営・事業による所得 2. 農業 3. 不動産 4. 一時所得(保険の満期等) 5. 雑(個人年金等)
	<収入金額①> 円	<収入金額①> 円	<収入金額①> 円
	<必要経費②> 円	<必要経費②> 円	<必要経費②> 円
	<所得金額①-②> 円	<所得金額①-②> 円	<所得金額①-②> 円
その他の所得	()の所得 円	()の所得 円	()の所得 円

こちら側を提出してください。

